



# 俳句ゆめクラブ会報

2023年9月26日

第 159 号

この処急に涼しくなったが今年の夏は暑さが長引いて本当に秋が来るのだろうか、と心配になる程であった。お蔭で涼しくなっても何だか調子が狂った感じで戸惑ってしまうような気持ちになっている。

そのせいかどうか知らぬが毎年と違うような現象も我が家ではスーパーで買った袋入りの米を使用しているが毎年夏になると出て来る虫が全然出なかった、それに庭で作っていた胡瓜の葉っぱにうどんこ病が出ずこれも何故?と思ったり。ちよつとおかしな夏だった。参加は9名、兼題は「秋澄む」だった。

## 〔句会〕県活2022号セミナー室

13時〜14時35分

### 梅田先生の句

秋澄むや一万越えし万歩計  
残る虫あへかに鎌倉古道かな  
秋場所のすばつと決むる肩透かし

### 梅田先生選

#### 《特選》

秋澄めり光る機影の遠くあり  
秋澄むやびたりと停止鼓笛隊  
秋澄むや鳥の声にも風音も  
指さきに飛ぶ気配あり鳳仙花

長澤輝子

浅見法子

八千代幸男

吉野利美子

大いなる山気を纏ひ秋あかね

踊り手の湧き出づること風の盆

秋澄めり空は平たく雲を置き

だしぬけに二本ならびて曼殊沙華

太古より変はらぬ調べちちる虫

#### 《入選》

抜け出して踊り狂ふ手ひらひらと

夕空にすみし月あり秋澄めり

竹林の曼殊沙華まだ咲ききらぬ

侘しさや人住まぬ庭秋彼岸

秋澄みて夜の香りの清しきや

草繁る夕べの川辺虫時雨

マンホール蓋が吹き飛ぶ秋出水

エスカーで昇り見渡す秋の海

らんまんに端役で出でし螢草

日本列島記録尽しの暑さかな

秋澄むや草手折りつつ歩く里

木々の中朱に染めはじむななかまど

ナイターで優勝決めた甲子園

曼珠沙華観音像に寄り添ひて

秋澄むや庭師の入りし大屋敷

小林健一郎

浅見法子

吉野利美子

八千代幸男

小林健一郎

吉野利美子

宮島昭夫

瀬戸川公子

長澤輝子

小林健一郎

宮島昭夫

浅見法子

瀬戸川公子

岡田時雄

八千代幸男

瀬戸川公子

長澤輝子

岡田時雄

宮島昭夫

岡田時雄

踊り手の湧き出ることく風の盆 (6票) 浅見法子  
秋場所のすばつと決むる肩透かし (4票) 梅田ひろし  
だしぬけに並びて咲ける曼殊沙華 (3票) 八千代幸男  
太古より変はらぬ調べちちる虫 (4票) 小林健一郎

〔決定事項・連絡事項〕

・次回句会 10月31日(火)

**第5火曜日です、注意。**

県活・2022号室(13時より)

(当番:小林、八千代)

兼題 「秋刀魚」

・次回句会時に6000円徴収します、ご用意下さい。

(後期会費:3000円、カレンダー代1500円、12

月弁当代1500円)

・鈴木幸恵さんが退会されました。

・今回は9名出席

(欠席:岩松)

(小林健一郎記)

### 互選

秋澄めり光る機影の遠く有り

(5票) 長澤輝子



(了)